

<p>十条西ブロック 第28回ブロック部会 議事要旨</p>	
開催日時	平成30年2月6日(火) 午後7時～8時
開催場所	十条地域振興室2階会議室
出席者	<p>部会役員：栗橋部会長、竹内副部会長</p> <p>事務局：十条まちづくり担当課 岩本課長、市川係長、徳田主査 濱崎主任、小栗主事</p> <p>コンサル：都市計画同人・立野</p>
参加者	10名 (部会役員を除く)
報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. JR赤羽線(十条駅付近)連続立体交差化計画および関連する道路計画の都市計画決定について 2. 都市計画道路補助第87号線【北区施行】について 3. 上十条三・四丁目のこれまでの取組みについて
	
<p>第28回十条西ブロック部会の様子</p>	

議事録

-----部会長からの開会あいさつ-----

この部会では、まちづくりに関して、公園づくり等色々な取組みに関わってきました。

そうした中、帝京大学からバス通りに抜ける補助第87号線や十条駅の南を走る補助85号線といった道路整備もありますが、当範囲に十条西ブロック部会に係る大規模な関連事業もないことを受け、今回をもって休止することになりました。

ブロック部会のこれまでの活動について、資料にある通りですが、まちづくりを進める上ではこうした活動は必要だからこそ行っております。

自分の家のことだけでなく、一人一人の繋がりが、町会やまちを構成するものです。まちの活性化のため、今後もまちづくりにご参加いただきたいと思います。

ブロック部会は休止するとはいえ、また別に会合がある時には、是非ご参加していただき、このまちに対する愛着を広げていただきたいと思います。

-----事務局からのご報告-----

(1). JR赤羽線（十条駅付近）連続立体交差化計画および関連する道路計画の都市計画決定について

【北区】

JR埼京線の連続立体交差化計画及び関連する道路、鉄道附属街路及び補助第85号線の計画について、都市計画法に基づき、北区並びに東京都の都市計画審議会で審議された結果、案のとおり了承され、11月30日に決定・告示しております。

都市計画の概要は以下のとおりです。

①連続立体交差化計画

本計画は、十条駅を中心とした約1.5kmの区間について鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものです。区間は、板橋区板橋一丁目から北区赤羽南二丁目までです。構造形式は、高架式及び地表式です。

②鉄道附属街路計画

鉄道附属街路は、補助第73号線と接続する東西方向の第1号線から、おおむね環状七号線までの6路線となっています。延長は総延長で約1kmです。幅員は、歩道の無い約6mから両側歩道の約13.5mと様々です。

③補助第85号線計画

今回の都市計画変更では、鉄道の連続立体化を活かすため、高架構造を平面構造に変更するほか、十条道踏切の一部区間を幅員30mに拡幅します。

④今後の予定

連続立体交差化及び鉄道付属街路については、用地測量等の説明会が平成30年2月2日、3日に開催され、今後現地の測量調査に着手されます。補助第85号線については、東京都が事業概要や測量等の説明会を開催する予定です。開催日等については、東京都と調整中で、関係する皆様にお知らせするとともに、北区ニュースでもお知らせします。

(2). 都市計画道路補助第87号線【北区施行】について

【北区】

補助第87号線は上十条三丁目内を通っております。板橋区の帝京大学前からバス通りを結ぶ都市計画道路です。北区内の延長は78m、計画幅員18mです。平成28年12月に用地買収が完了し、昨年度に電線共同溝予備設計、今年度に電線共同溝・道路詳細設計、そして来年度に企業者占用物件支障移設工事などを行い、最終的には平成33年度に工事完了の予定となっています。

なお、電線共同溝とは、電柱の電線を地下の空間に收容するものです。具体的には電力の電線、NTT等の通信ケーブル、更に各ご家庭への分岐、更に点検作業用の大きなボックスを地面に埋設します。電柱に載っていた変圧器については、歩道上の車道寄りに設置されます。共同溝は、車道の下に設置すると色々と問題が発生しかねないので、歩道の下に埋設することとなります。

(3). 上十条三・四丁目のこれまでの取組みについて

【コンサル】

上十条三・四丁目地区では、防災性の向上、住環境の改善のため、平成6年度に密集事業を導入いたしました。翌年の平成7年に阪神・淡路大震災が発生したことを受け、東京都では木造住宅密集地域における防災性の向上を図るべく、考え方に大きな変化がございました。

上十条三・四丁目地区では、平成8年1月に「三・四まちづくり協議会」を設立し、平成16年度まで同協議会での活動を行っています。当時の活動といたしましては、公園づくりのための勉強会やワークショップ、まちづくりのための懇談会、更に防災マップづくりに向けたまち歩きとして、道路幅員の計測、道路沿いのブロック塀の高さの計測などを行っていただきました。こうした結果を踏まえて防災マップを作成いたしました。先進事例のバス見学会として、練馬区江古田地区等、以前からまちづくりを実施している地区を訪れ、上十条三・四丁目地区のまちづくりの参考としていただきました。また、消防署の協力を得て、実際の道路での消防車による試走実験なども行って参りました。こうした活動を通じて、まちづくりに関する話し合いを続けてまいりました。

そして平成17年8月、「十条地区まちづくり全体協議会」が設立されたことにより、「三・四まちづくり協議会」は「十条西ブロック部会」として、まちづくりに関する協議会活動を続けて参りました。

また、こうした活動を通じて、まちづくりや建替えのルールとして、平成20年4月には、「防災街区整備地区計画」が都市計画決定されました。当ブロック部会でのやりとりが、「十条地区まちづくり全体協議会」における活動の参考となってきた背景を持っています。

この24年間におけるまちの変化といたしましては、バス通りから加賀中学校に向ける主要生活道路D路線も幅員4m以上には拡幅できたほか、密集事業を導入した平成6年度当時は、上十条三・四丁目に公園がなかったものの、現在では児童遊園を含めて、6箇所整備されています。また、これらの公園については、花植え等も行っていただき、現在も地区の憩いの場として活かされていることは、地区の皆様のご協力の賜物であると思います。

平成6年度の建物構造の図面と平成28年度の建物構造の図面を比較すると、準耐火建築物や耐火建築物が増加していることがお分かりいただけるかと思えます。

まちづくりは非常に長い年月を必要としますが、その中でもまちづくりのルールを定めることにより、まち全体も安全でかつ安心できるものへ変化させることができます。更に、新たな建物が建つ事により、若い居住者も増えてきます。実際、昭和40年代のように人口の急増は望めませんが、現状の人口が急激に減少しないようなまちづくりが、これからは大切ではないかと思えます。まちづくり活動を踏まえながら、一定の成果が得られたのは、皆様方のご協力あつてのことであり、改めまして、お礼申し上げます。

-----参加者からのご意見やご感想-----

【部会長】

道路の拡幅や6つの公園が整備されました。今後、資料を作成する時には、防火水槽の数も明記してください。そうしないと、単なる公園として受け取る人もいるので、よろしく願います。本日は、上十条三・四丁目地区のまちづくりについて、皆さんに感想をお聞きしたいと思えます。

【参加者】

話を聞いたら、すぐに進んでいくのかなと思うものの、なかなか進んでいかないのがまちづくりのかなといった感想です。もうちょっと早くできないのかなとの思いがあります。

その辺を、ちょっと考えていただければと思えます。

【参加者】

こちらに来たのが平成6年なのですが、20年経つと、耐火建築物等がこんなにも増えて、地震が来ても、上十条三・四丁目地区は安心かなあと思いつつも、再開発などに反対する看板も目につくので、何時になったら、完成するのか心配になります。

【部会長】

十条まちづくりの発端は、埼京線の踏切を廃止しようとしたことです。そして、当初の目的は達成でき、その関係から都市計画道路などの整備が係ってきました。

【参加者】

補助第87号線の話ですが、何故、御成橋から信金の前までの区間だけを広げるのですか？

【北区】

事業区間としては、図にお示した着色の部分だけですが、都市計画道路と都市計画道路を結んでいきます。都市計画道路の整備にあたっては、同じ番号の道路の全区間を一気に整備するわけではなく、区間ごとに優先順位を付けて対応することとなります。そうした中で、補助第87号線では御成橋から信金の前までの区間が整備されているわけです。

【部会長】

帝京大学のある南から多くの車が、上十条三丁目内の道路に入り込んでおり、補助第87号線のこの区間が整備されれば、こうした問題も減る。学童もいるので、こうした点についても解決する上で良いと思います。

【参加者】

補助第87号線の整備に併せて、外灯が撤去されて、暗くなってしまったものなので、早くに整備してもらいたい。

【北区】

交通計画の点から、バス通りとの交差部は五叉路となっていることもあり、その辺で関係期間との協議が難航することもあるかと思いますが、なるべく早く対応出来るように、調整したいと思います。

明るさの問題につきましては、既存の外灯の照度を上げる等の対応もあるかと思いますが、ご要望については、担当課と協議させていただきたいと思います。

【参加者】

自分たちが住むまちの問題なので、少しでも多くの方に参加していただける方法を検討していただきたいと思います。

【部会長】

自分たちが住むまちの事柄を知ると言った観点では、互いに誘い合って参加し、意見を出し合う気持ちが一番大切だと思います。これまでも行ってきたまちづくり活動は、住民である自分たちの問題であることを理解していただかなければならないと思います。

【参加者】

補助第87号線の完成時期が平成33年度となっていますが、一日でも早く完成されることを望んでいます。

【部会長】

20年間も停滞している時があったものの、用地買収は全部終わっているのです、今度は大丈夫です。ただし、遅れた時間を取り返すことはできないものの、工事は今までのようなことはないと思います。

【参加者】

私は駅西ブロック地区に住んでいるのですが、何か関係するのかと思います、参加させていただきました。駅前の再開発が完成した際には、駅前広場にバスの停留場ができるのかと思うのですが。

【北区】

バスが入れる空間はできるのですが、バスの運行会社である国際興行からは駅前にバス停を設けたいとの話は来ておりません。

また、補助第87号線が完成した際には、バスの運行経路が変わる可能性はありますが、現時点でははっきりしたことは分かりません。

【参加者】

今回が最後と言うことなので出席させていただきました。毎日、犬の散歩で十条駅前の小高いところを上ると、将来の十条駅のイメージ図があるのですが、まちが綺麗になることはいいと思います。

【副部長】

上十条三丁目・四丁目で、6つの公園が完成してきた訳ですが、当地区内では大きな事業はなかったものの、小さな事柄では、外灯のLED化となり、非常に明るくなった。24年間、よくぞこれまでやってきたのではないかと思います。もちろん、これからもやるべきことはあるかと思いますが、今度は十条地区全体で、成果が上がってもらえればと思います。

【部長】

長きにわたって、様々なことをやってきました。その場ではよく分からなくとも、時間が経つにつれ、いい方向にまちが変わってきたことを感じてもらえていると思います。これがまちづくりの実態かと思っています。常に時間は流れていて、その時代の中で人間社会は位置しておりますので、その流れに無関心ではいけません。

住んでいる者にとっては、変化は感じられなくても、たまに十条を訪れる人にとっては、十条地区の変化を敏感に感じています。

まちづくりというものは、そうしたものです。

-----副部長からの閉会挨拶-----

今日は、ありがとうございました。

色々なご意見をいただきまして、コンサルの方も感無量になっているのではないかと思います。

28回目のブロック部会をもちまして、休止とさせていただきますが、これから十条のまちが大きく変わっていくと思います。

ブロック部会としては、長い間お疲れさまでした。また、十条全体としては、多いに協力していただき、素晴らしいまちにしていきたいと思います。

本日は、これを持ちまして終わりとさせていただきます。ありがとうございます。